

WAC  
農園

農作業の旬の季節到来！！春番これから忙しくなるよ～  
ひとりひとりの役割があり、できることを一生懸命します。上達早いよ Good！



作物の作付のための耕運をしています。Sさんも機械の操作に慣れてきました。



桑畑の草刈りをしました。急斜面の所もFさんは上手く刈ることができました。



Mさんが収穫した大根の葉をハサミで切り落として出荷の準備をしています。ハサミや包丁等の危険な道具は、細心の注意をはらって慎重に使用しています。

WAC  
アグリカフェ

4/12(土)とよはし音楽祭の後、出演者の方々と和気あいあいとした懇親会。みなさんおいしそうに頬張っていました。

春の空気をいっぱい吸いながら  
自然のメロディーを聞きながら作業します。  
生きてるよ～～！



下条にある畑の整備を進めております！背の丈ほどあった草木を切るところから始まり、協力しながら徐々に畑になっていきます。これからの時期は草木との会話の毎日整えながら日々前進です！

## 生活介護V i V i

## 生活介護

ファサードは芽吹く新緑のイメージ  
菜の花たちとチューリップの競演です！



ファサードを勢いよく芽吹く新緑のイメージで作りました。更に菜の花とチューリップの競演により色鮮やかに元気の出る演出をしました。

2階まちなかギャラリーへどうぞ!!  
日本の座敷でお待ちします!!



今年も「みんなの居笑」では、トヨハシリュットまちなかギャラリーとして4/22～5/7の期間、二階30畳のスペースに絵画、立体作品等を展示展開します。お気軽にお越しください！

満開の桜の花の下の散歩コース  
みんなウキウキします！！



今年もメインの散歩コースで桜の花が満開に咲き誇っていましたので思わずバチリ！毎年癒されると同時にウキウキし足取りも軽くなります。

## おひさまこども保育園

## 企業主導型保育

おひさまこども探検隊が行く！暖かい日差しとさわやかな風を浴びながらのお散歩！！  
さくらがきれい！シャボン玉遊び、たんぽぽ、ひらひら蝶たちも飛んで、ダンゴムシいました！！



暖かい日差しと共に、4月から新年度を迎える事ができました🌸 さっそくお散歩では、お花見やシャボン玉遊びをしたり、たんぽぽや蝶々🦋ダンゴムシなど春を発見したりと探索遊びを楽しんでいる子どもたちです🌱

## グループホーム愛saku／ショートステイ

## 共同生活援助

有志視察研修1泊2日の旅は、瀟洒な街湯布院と、土砂降りの中の別府地獄めぐり。いいお湯とカルチャーショックで今回も充実。歩きました。



約1年ぶりの有志視察研修。今回は、九州、温泉で有名な湯布院・別府1泊2日の旅です。4月24日、早朝から出発して、新幹線で博多まで。博多の乗り継ぎの短い間に駅弁購入して超ローカル電車に乗り込み湯布院へ。驚いたのは、博多辺りから、どうもニュアンスの異なる乗客が増えたな、と思ったら、中国からの観光客がわんさか。なぜか指定席なのに、完全無視して私たちの座席にどっかり座っておられましたので、説明してどいて頂きました。これ行き帰り共に2回ありました。途中経過の駅は、山と溪流、戦後の廃墟と思われる建物を残す駅と続く風景。ようやく到着した湯布院は、それとはまったく異なり、やたら小洒落た瀟洒な街で、古風に見えて新しく洗練されたお店が並ぶ観光街。商店街を歩くと、お世話になるプチホテルに到着。小さいホテルなのですが、お部屋はさくぶる豪華で、男性メンバー5名部屋は、和洋のリビング3・和室2で、まるでファミリータイプのおうち感覚。荷物を置いてすぐに雨の中、さらに奥まった街を抜け金鱗湖へ。小洒落た表通りに加え、川沿いの裏道にも風情のある付まいの旅館やお店があり、さすがに古くから続く観光地。街全体が工夫された構造になっていることに驚かされます。湯気が立つと言われる金鱗湖でしたが、雨のせいか特に湯気はなく、傍らの天祖神社にお参りして、再びホテルへ。一息ついてからは、夕食タイム。こちらも会席風の瀟洒な創作料理の数々。九州特産の甘い醤油を生かした繊細な味わい。堪能できました。夜は、各々温泉にてゆっくりと。翌日は、朝食を早めにとり、急遽予定を繰り上げ、通勤列車と路線バスを乗り継ぎ別府へ。有名な地獄めぐりを、と繰り出したものの、突然の大雨土砂降り雷も降る始末。なんとか最初の目的地へたどり着いた後は、なんと雨が止みました。地獄温泉は、硫黄臭が強く足湯もあり、とにかくすごい湯気。100度近い天然温泉が湧き出ており、中には、ワニがウジャウジャいたり、アマゾンの巨大魚がいる水族館、植物園もありました。途中、腰痛メンバーの車イス移動もありましたが、次第に晴れて、なんとか5カ所はクリア。屋はミニ飲茶を露天で軽く頂き、再びバスで別府駅へ。各々お土産を買って、早めにホームへ。戻りは、夜の21時半を回ってました。有志視察研修は、公共交通を使ってフルに歩き移動するので、かなりタイトな旅ではありますが、それがまた有意義な経験につながります。今回も、やり遂げた感がある良い旅だったと思います。皆、お疲れさまでした。

4月12日『第15回とよはし音楽祭』開催。  
より作品内容が充実した展開になりました。  
出演者・ゲストの皆さんにも感謝！！



今年も、当法人主催、恒例の『とよはし音楽祭』が開催されました。なんと15回目。15年も継続していることになりました。改めて驚き！例年だと2月に開催されることを、今回は、4月に開催。場所も、いつもの豊橋市文化会館から、穂の国とよはし芸術劇場プラトアートスペースに移しての開催。初めての会場となるので、若干、気を遣いましたが、きれいなスペースで、ゆるゆる芝居向けの会場。堀が深めで、観客席が真近に感じられ、若干小さめの舞台を上から見下ろすようなスペース。落ち着いた、いい空間でした。さて、肝心の音楽祭はというと、もうご存知の方も多いと思いますが、こころの病に特化した公募内容で、当事者の方々から送られた歌詞・作曲・演奏の中からいくつかの選考を経て、当日の舞台演奏と審査に臨む、I部・コンペティションと、II部・ゲスト演奏の2部構成になっています。何度目の挑戦者がいる一方で、年々新しい音楽や言葉を紡ぐ新人の方々も増えてきています。また、受賞OBの方々の中には、そのまゝ顧問に活動が続ける方がいる一方で、再び、初心を忘れた平和さに疑問を感じ、改めて音楽との向き合い方に挑み直す方もいます。確かに、本当に苦しんで作り出した時の怒りや孤独、寂しさや喜びや生命力のようなものには力がありますが、だんだん漫然化していくと、曲や言葉を奏でる意味が判らなくなってしまう。何やってんだろう、自分は、と。とはいえ、音楽そのものの演奏力や楽曲力は、かなり進歩したと感じます。というわけで、グランプリ受賞したのは、そんな疑問も更新させた社会派シビアな内容をお洒落なラップに乗せて舞台に立ったSharkenさんの「和睦の条件」。広島からやってきた力のある方です。金銀銅と続いて、審査員特別賞の藤田友人さん(埼玉県より)の「チェロとピアノとアンサンブルのための協奏曲」もシュールレアリスティックで面白かったですよ。もちろん、私たちW.P.Bもがんばりました。久々にお会いした稲田貴久さんにも感謝。WACNETに自作曲を贈って下さった方です。舞台や内容の詳細はYou Tube内・バリナビTVにてぜひ観てみてください。では！！



●自立へのステップ  
「自立支援ホーム」単身、シェアホーム、シェルターも運営

↓グループホーム愛saku ラインアップ 写真左から①みんなの郷②東田の郷③三ノ輪の郷④牛川乃郷⑤宮本乃郷



## クラブハウスWANTH いつもドアは開いています！！

## 豊橋市地域活動支援センター

今年も桜の季節。日本の美というのは、さりげなく儚げでいて繊細！？



## クラブハウス4つの権利

- 誰でも来ることができる
- いつでも帰ってくるることができる
- 誰からも必要とされる人間関係を築くことができる
- 誰からも必要とされる役割がある

今年も桜の季節到来。毎年3月末なのか、4月初頭なのか、開花状況を微妙に気にしながら過ごす時期。今年は、開花が遅いのかと思ってたら、4月初旬に一気に全開。途中、雨天もあったにも関わらず、1日2日の間に、あっという間に満開になってしまっただけ驚きました。しかも、同じ地域内でも、北側と南側で開花日が異なる。発見でした。ワナスでは、すぐ近隣に桜の咲く公園があるので、毎日様子を見ながら晴れた日に散歩がてら、みんなで花見に行ってきた。満開のようで、葉やガクの部分が見え隠れした咲き具合で、なんとなく今一つ例年の印象とはちょっと異なる今年。それでもやはり、桜の独特の淡いピンクと白の煙のような繊細な色彩は、日本ならではの風景であり、つくづく日本の美の背景にある基礎となる情景なのだろうと。貴重ですね。そんなこんなで、今年も春の欠かせない風物詩を味わえました。来年もまた、きれいな桜の花に逢えますように。

